



精進

H29. 4. 25

人生における3つの坂

上り坂



下り坂



まさか



これは、実際の話です。

私の知り合いで Sさんという建築の現場監督をしている方がいました。彼は当時28歳でしたが、ある日突然予想もしていなかった苦しみに見舞われる事になりました。「まさか」の事故が原因です。

ある朝、彼はいつものように原付バイクに乗り、担当する現場に向かっていました。

すると前を走っていたバスが、バス停に停まり、それを追い越そうと右車線に少しはみ出した瞬間、対向車にはねられたのです。事故直後、救急車で病院に運ばれ、医師らによる懸命な治療をされましたが、深い後遺症が残り、日常生活での不自由さは想像をはるかに超えるものとなってしまいました。

彼が言った言葉で、今も忘れられない言葉があります。それは、

「朝、家を出るとき、まさか自分が今日このような姿になるなんて想像もできなかった」という言葉です。「時間を巻き戻したい」と何度も強く思い、後悔の日々が続いたとのことでした。

誰も事故を起こしたくて起こしたり、けがをしたくてするような人は誰もいません。

ほんの気の緩みや、油断、「まあ いいか」で始まるのだと思います。人ごとや他人事ではありません。君たちは将来活躍する人材に成長するために、鹿工に学びに来ているのです。



ケガ一生
油断一秒



並進して会話に夢中
車に気づかず
(安全確認を怠らない)



交差点では必ず
一旦停止

車が出てくる
かもしれない!

